

(仮称)赤坂センター地区複合施設整備に向けた
市民アンケート調査・ワークショップ
実施報告書

目次

第1章	市民アンケート調査..... P 1
第2章	ワークショップ..... P 19 第1回目..... P 20 第2回目..... P 24
第3章	まとめ..... P 29

第1章 市民アンケート調査

1. 実施概要

目的	赤坂地区に立地している公共施設等の利用状況や満足度、複合施設の整備に関する市民の意見などを把握するために実施
----	--

項目	内容
調査対象	【A調査】成田ニュータウン居住者 1,000 人（15 歳以上） 【B調査】成田ニュータウン居住者以外の市民 1,000 人（15 歳以上）
抽出方法	既往調査の年代別回収率を踏まえた比例配分による無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収のほか、QRコードによるWEB回答
調査期間	令和5年8月21日～9月4日
回収状況	【A調査】287（郵送：189、WEB：98） 【B調査】269（郵送：172、WEB：97）

2. 主な調査結果

(1) 個人属性

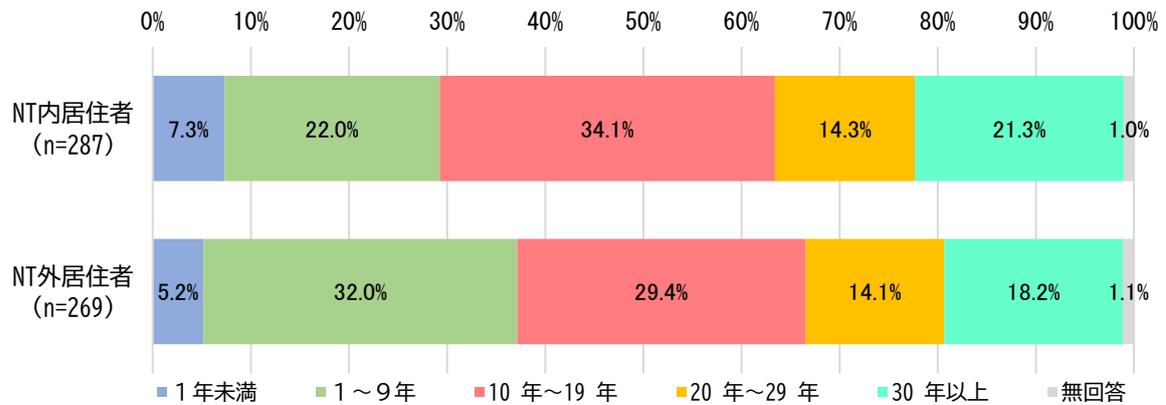
1) 年齢

成田ニュータウン内では40歳代が最も多く（19.9%）、成田ニュータウン外では10歳代が最も多い（17.8%）。



2) 居住年数

成田ニュータウン内では「10年～19年」が最も多く（34.1%）、成田ニュータウン外では「1年～9年」が最も多く（32.0%）になっている。



(2) 成田ニュータウンのイメージ（成田ニュータウン外居住者のみ）

成田ニュータウンに対するイメージを、「たいへんそう思う」と「そう思う」を合わせた肯定的評価の割合で分析する。

1) 全体の傾向

「食料品など日用品の買い物がしやすいまち」が最も多く（68.4%）、次いで「公園や緑地が充実したまち」（67.3%）、「道路などの都市基盤が充実したまち」（57.3%）、「公共の施設やサービスが充実したまち」（56.9%）の順となっており、計画的な整備が行われた市街地としての特徴がまちのイメージを形成している。

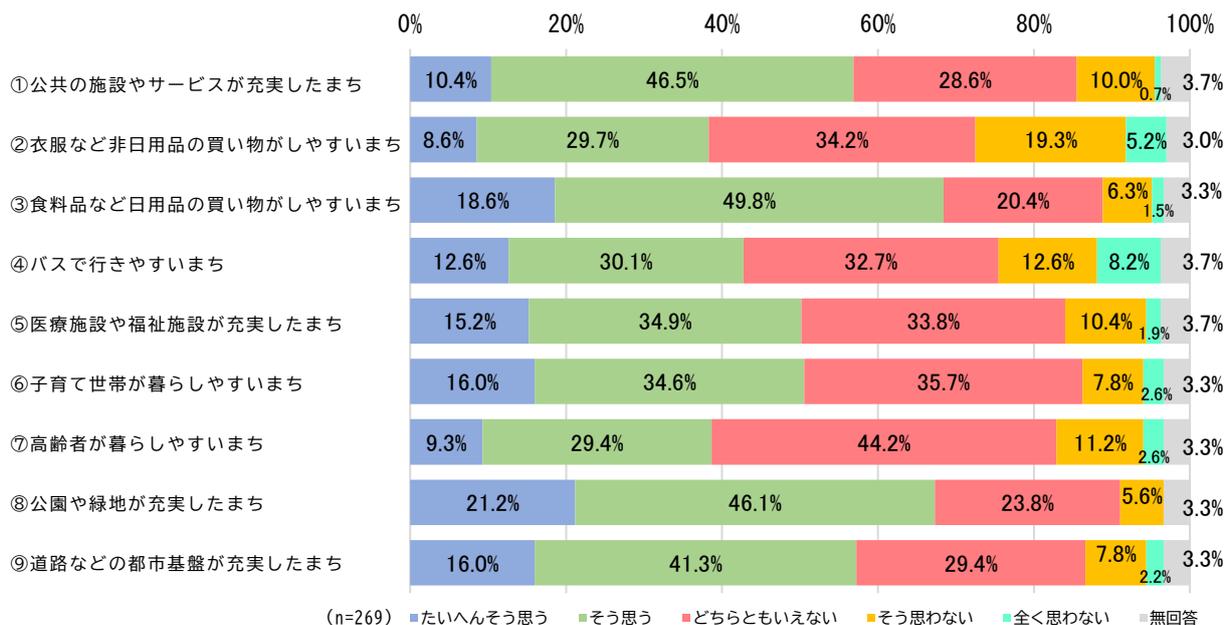


図. 成田ニュータウン外居住者の成田ニュータウンに対するイメージ（単一回答）

2) 年齢別の傾向

①15～29 歳

全体の傾向と同様に計画的な整備が行われた市街地としての特徴がまちのイメージを形成している。15～29 歳の関心事であると考えられる「子育て世帯が暮らしやすいまち」に対する肯定的評価は 44.7%となっている。

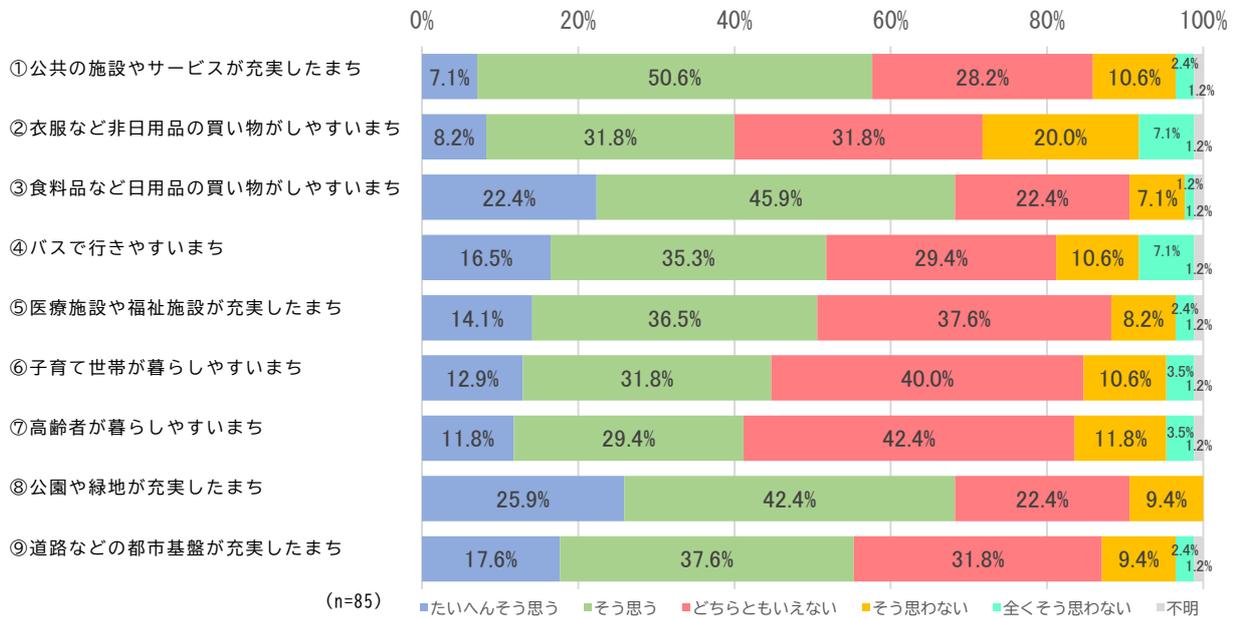


図. 成田ニュータウン外居住者（15～29 歳）の成田ニュータウンに対するイメージ（単一回答）

②30～49 歳

全体の傾向と同様に計画的な整備が行われた市街地としての特徴がまちのイメージを形成している。30～49 歳の関心事であると考えられる「子育て世帯が暮らしやすいまち」に対する肯定的評価は 60.7%と、15～29 歳よりも高い値となっている。

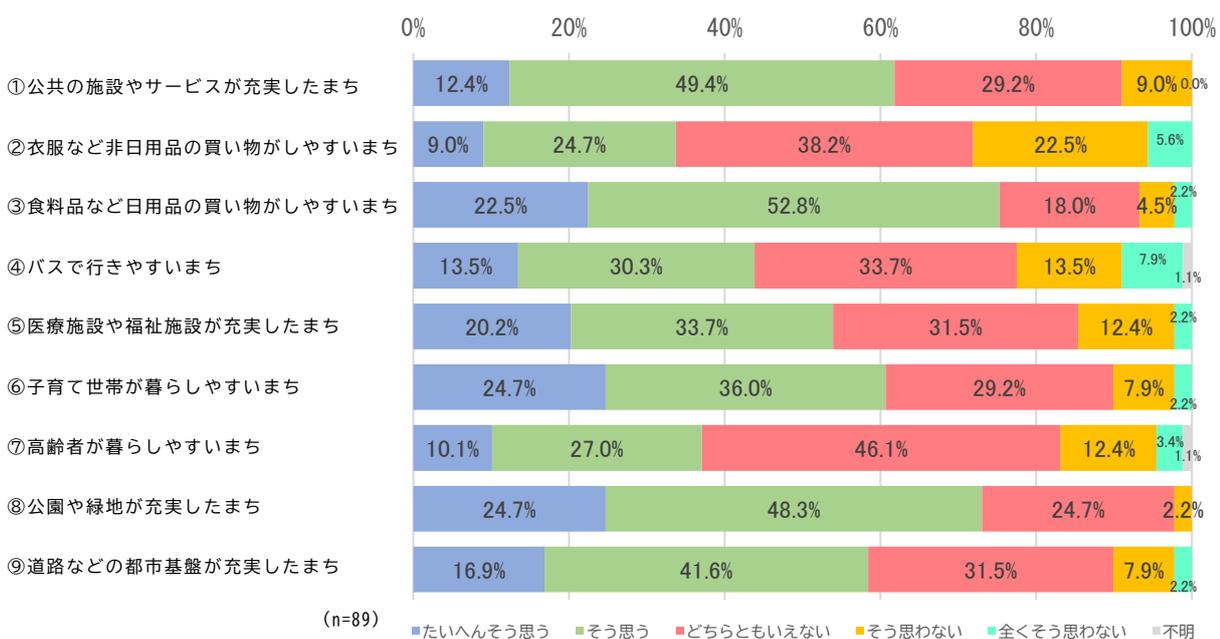


図. 成田ニュータウン外居住者（30～49 歳）の成田ニュータウンに対するイメージ（単一回答）

③50 歳以上

全体の傾向と同様に計画的な整備が行われた市街地としての特徴がまちのイメージを形成している。50 歳以上の関心事であると考えられる「医療施設や福祉施設が充実したまち」の肯定的評価は 47.9%、「高齢者が暮らしやすいまち」の肯定的評価は 39.1%となっている。また、「バスで行きやすいまち」は 34.8%となっている。

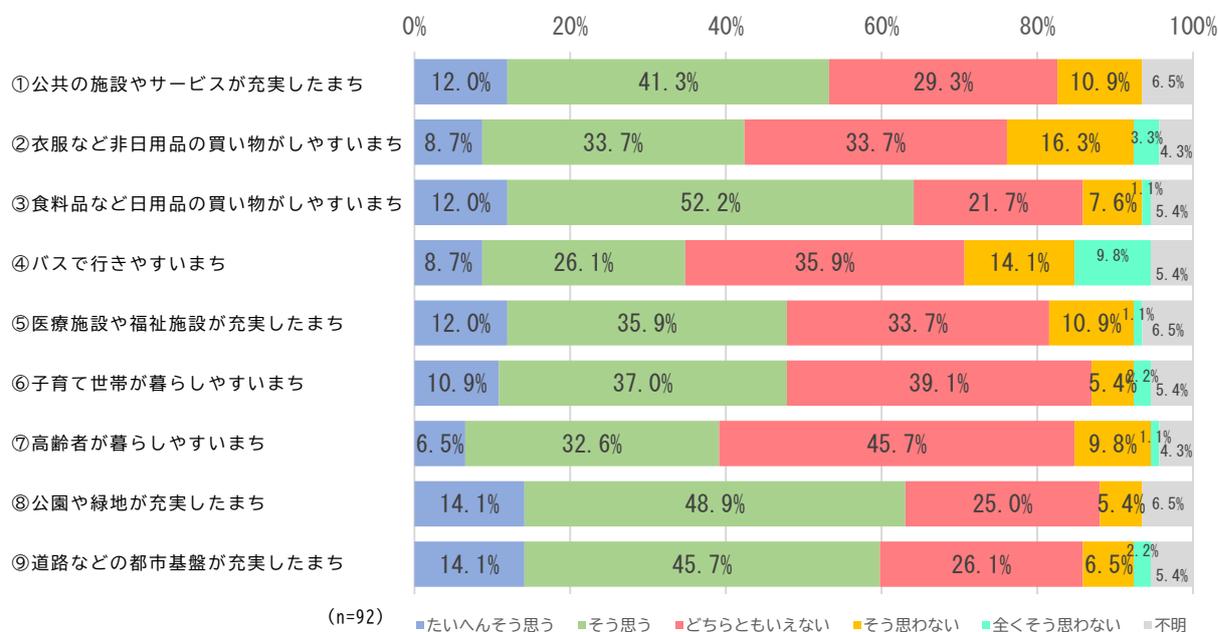
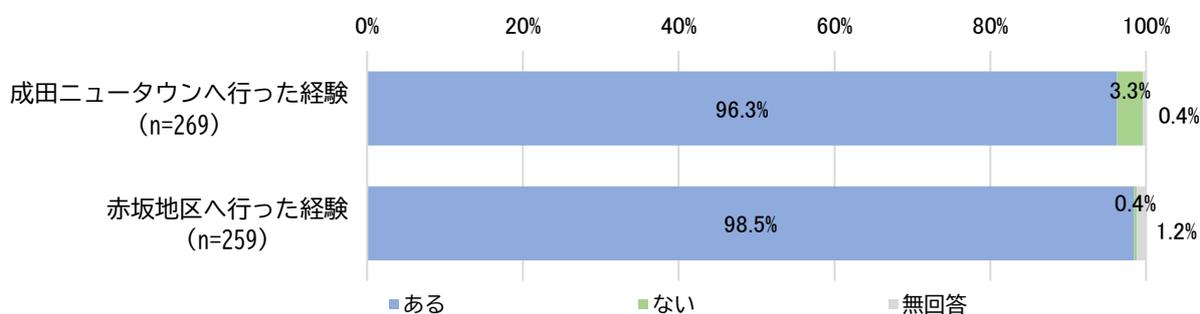


図. 成田ニュータウン外居住者（50 歳以上）の成田ニュータウンに対するイメージ（単一回答）

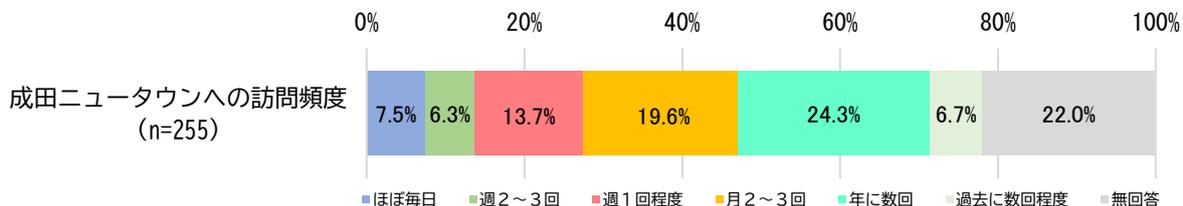
(3) 成田ニュータウン及び赤坂地区に行った経験（成田ニュータウン外居住者のみ）

成田ニュータウン及び赤坂地区へ行ったことのある回答者は、いずれも 95%以上となっており、成田ニュータウンは広域的な拠点性を有していると考えられる。



(4) 成田ニュータウンへの訪問頻度（成田ニュータウン外居住者のみ）

成田ニュータウンへの訪問頻度は、「月2～3回」以上で47.1%であり、成田ニュータウン外居住者も定期的に成田ニュータウンを訪問している。



(5) 赤坂地区への訪問頻度

1) 成田ニュータウン内居住者

赤坂地区への訪問頻度について「週1回程度」以上の割合を見ると、「買い物（食料品など日用品）」が最も多くなっている（60.6%）。

「月2～3回」以上では、「買い物（食料品など日用品）」が最も多く（85.3%）、次いで「銀行・郵便局利用」（55.8%）、「買い物（衣服など非日用品）」（51.2%）の順となっており、赤坂地区は日常生活を支える拠点的なエリアとなっていると考えられる。

また、「図書館（本館）利用」は「月2～3回」以上が28.7%であり、定期的に利用する市民が一定程度見られる。

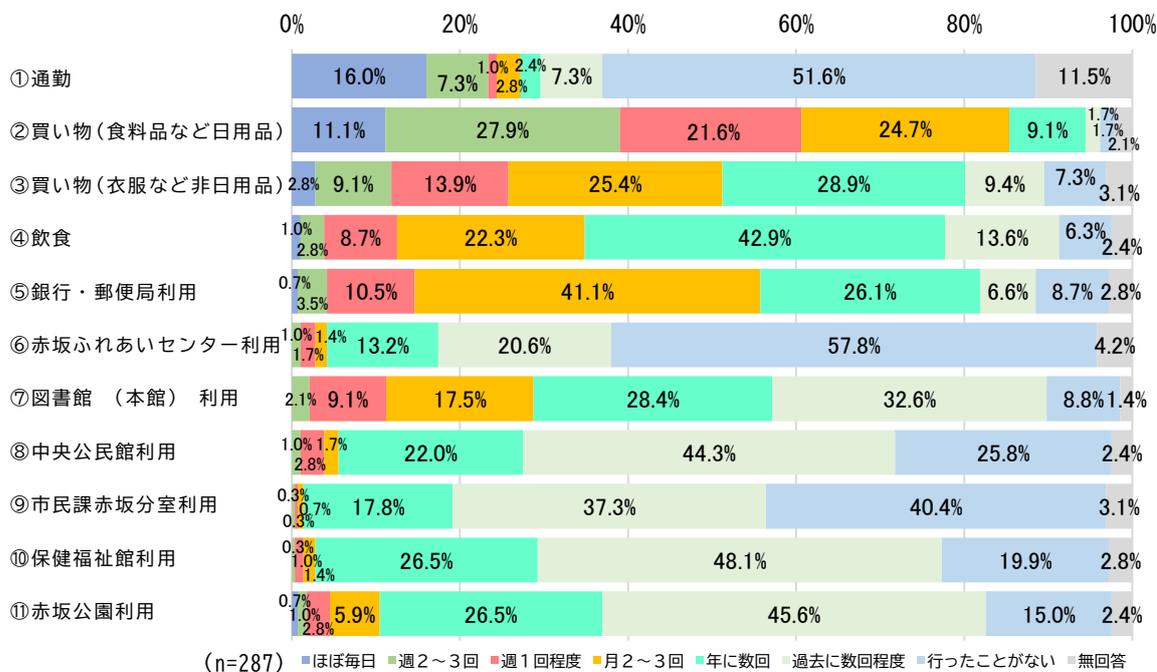


図. 成田ニュータウン内居住者における赤坂地区への訪問頻度（単一回答）

2) 成田ニュータウン外居住者

赤坂地区への訪問頻度について「週1回程度」以上の割合を見ると、「買い物（食料品など日用品）」が最も多く（21.5%）、成田ニュータウン外居住者の一部においても赤坂地区が日常生活を支える拠点となっている。

「月2～3回」以上では、「買い物（食料品など日用品）」が最も多く（47.8%）、次いで「買い物（衣服など非日用品）」（29.8%）、「銀行・郵便局利用」（25.2%）の順となっている。

また、「図書館（本館）利用」は「年に数回」以上で30.6%となっている。

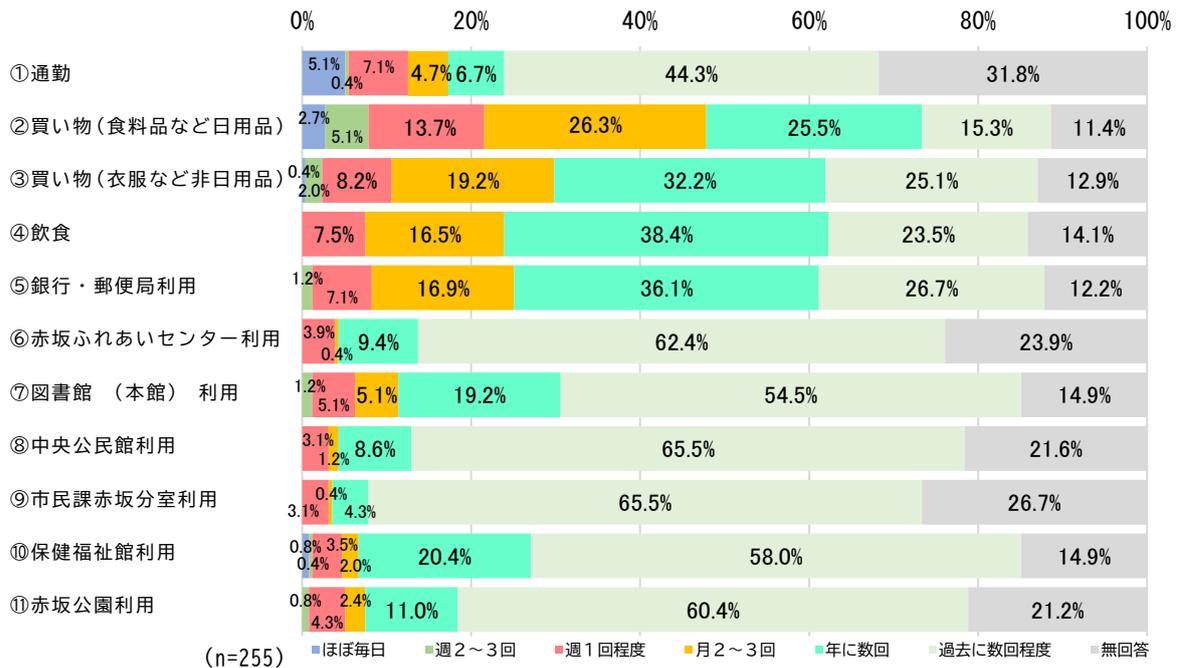


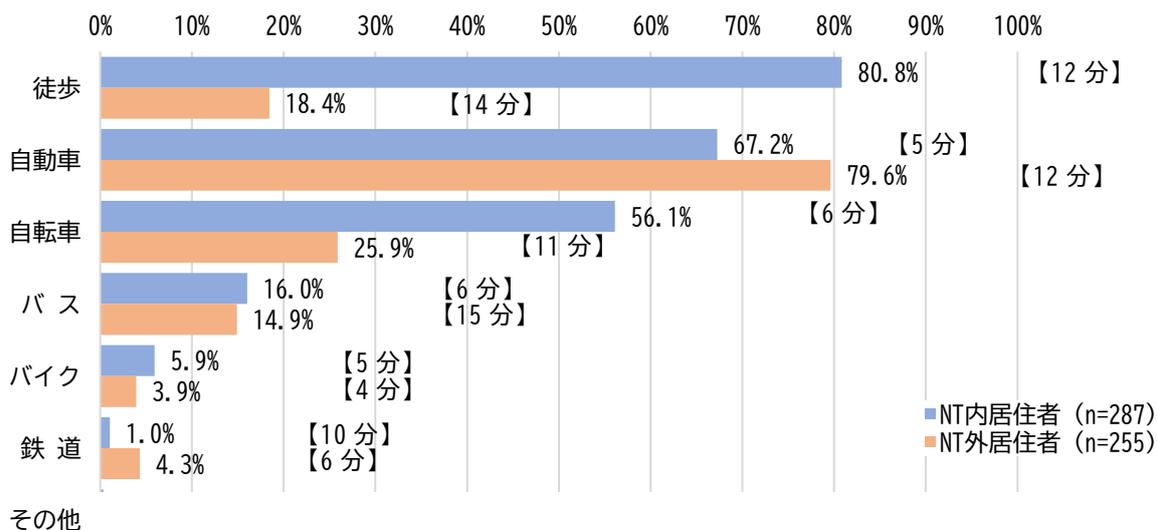
図. 成田ニュータウン外居住者における赤坂地区への訪問頻度（単一回答）

(6) 赤坂地区への交通手段

成田ニュータウン内居住者では、「徒歩」が最も多く（80.8%）、平均移動時間は12分であり、成田ニュータウンの快適・安全な歩行者環境が背景にあると考えられる。

次いで「自動車」（67.2%）、「自転車」（56.1%）の順となっており、「徒歩」、「自転車」及び「自動車」を使い分けている。また、自動車の平均移動時間は5分であり、近距離でも自動車を利用している。

成田ニュータウン外居住者では「自動車」が最も多くなっている（79.6%）。自動車での平均移動時間は12分となっている。



※【 】内は交通手段別の平均所要時間

図. 赤坂地区への交通手段（複数回答）

(7) 赤坂地区で充実した方が良いと思う施設

1) 全体の傾向

成田ニュータウン内居住者では「健康づくり、スポーツが楽しめる施設」が最も多く（38.7%）、次いで「衣類などの非日用品を取り扱う商業施設」（35.2%）、「食料品などの日用品を取り扱う商業施設」（32.1%）、「趣味や文化活動のための施設」（28.2%）となっており、スポーツや文化といった活動系と商業系の施設に対するニーズが高い。

成田ニュータウン外居住者においても、成田ニュータウン内居住者と概ね同様の傾向であり、「健康づくり、スポーツが楽しめる施設」及び「衣類などの非日用品を取り扱う商業施設」が最も多く（35.7%）、次いで「食料品などの日用品を取り扱う商業施設」（34.2%）、「趣味や文化活動のための施設」（33.5%）の順となっている。

「趣味や文化活動のための施設」については、成田ニュータウン外居住者の方が、成田ニュータウン内居住者よりもニーズが高い。

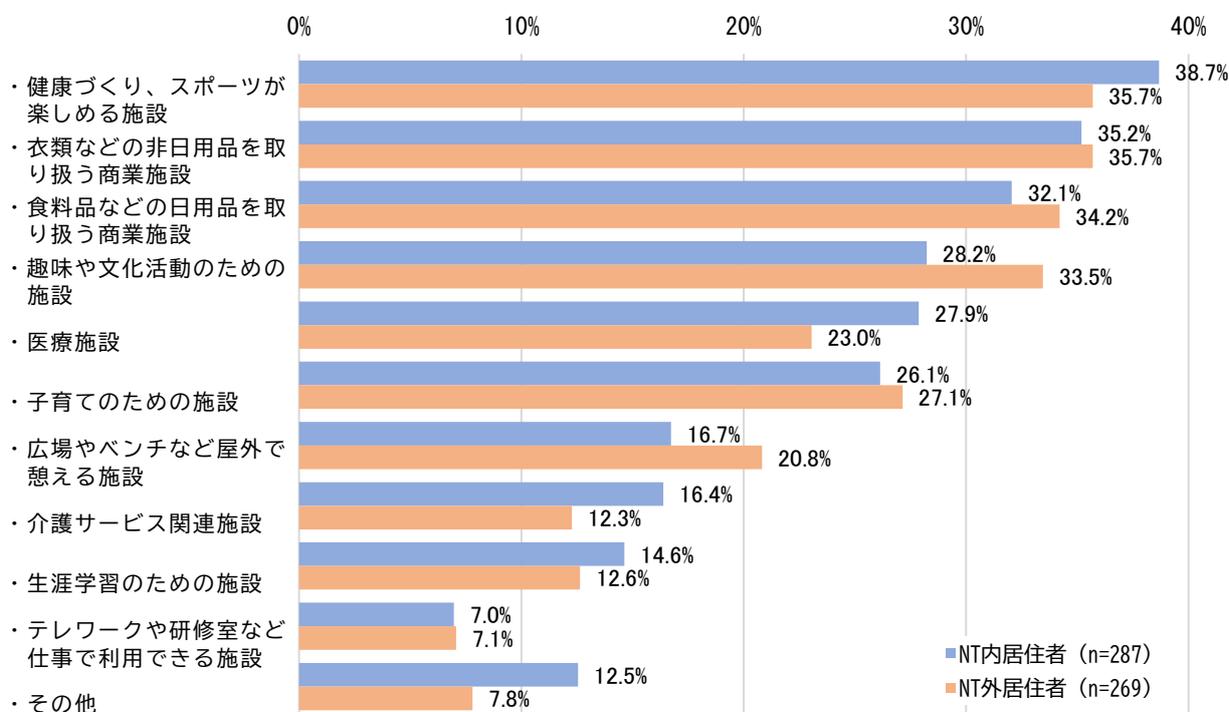


図. 赤坂地区で充実した方が良いと思う施設（複数回答）

2) 年齢別の傾向

①15～29 歳

成田ニュータウン内居住者では「健康づくり、スポーツが楽しめる施設」が最も多く（41.0%）、次いで「衣類などの非日用品を取り扱う商業施設」（37.0%）、「趣味や文化活動のための施設」（33.0%）、「食料品などの日用品を取り扱う商業施設」（24.0%）となっており、全体の傾向と比較して「食料品などの日用品を取り扱う商業施設」が相対的に少ない。

成田ニュータウン外居住者では、「衣類などの非日用品を取り扱う商業施設」が最も多く（38.8%）、ショッピングなど若い世代向けの都市機能に対するニーズが多い。次いで「健康づくり、スポーツが楽しめる施設」（37.6%）、「食料品などの日用品を取り扱う商業施設」（35.3%）、「趣味や文化活動のための施設」（32.9%）の順となっている。

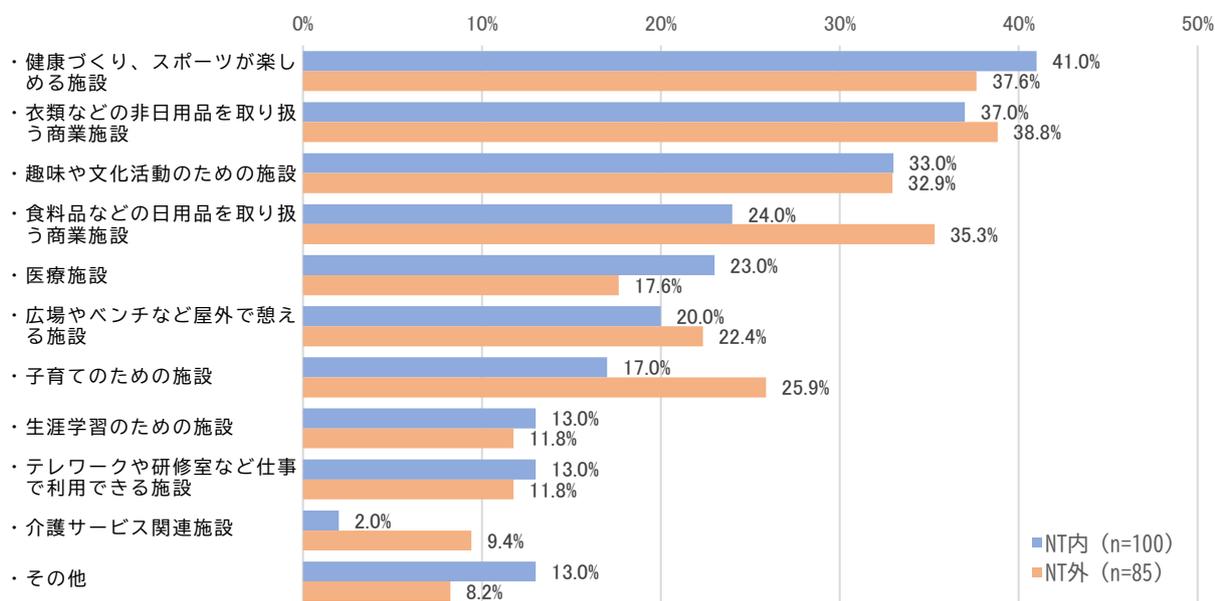


図. 15～29 歳が赤坂地区で充実した方が良いと思う施設（複数回答）

②30～49 歳

成田ニュータウン内居住者では「健康づくり、スポーツが楽しめる施設」が最も多く（43.8%）、次いで「衣類などの非日用品を取り扱う商業施設」（41.6%）、「子育てのための施設」（39.3%）、「食料品などの日用品を取り扱う商業施設」（38.2%）となっており、全体の傾向と比較して「子育てのための施設」が相対的に多いことが特徴である。

成田ニュータウン外居住者では、「衣類などの非日用品を取り扱う商業施設」が最も多く（43.8%）、ショッピングなど若い世代向けの都市機能に対するニーズが多い。次いで「子育てのための施設」（42.7%）、「食料品などの日用品を取り扱う商業施設」（34.8%）、「健康づくり、スポーツが楽しめる施設」（33.7%）の順となっている。

成田ニュータウン外居住者は、「衣類などの非日用品を取り扱う商業施設」及び「子育てのための施設」に関し、成田ニュータウン内居住者よりもニーズが多くなっている。

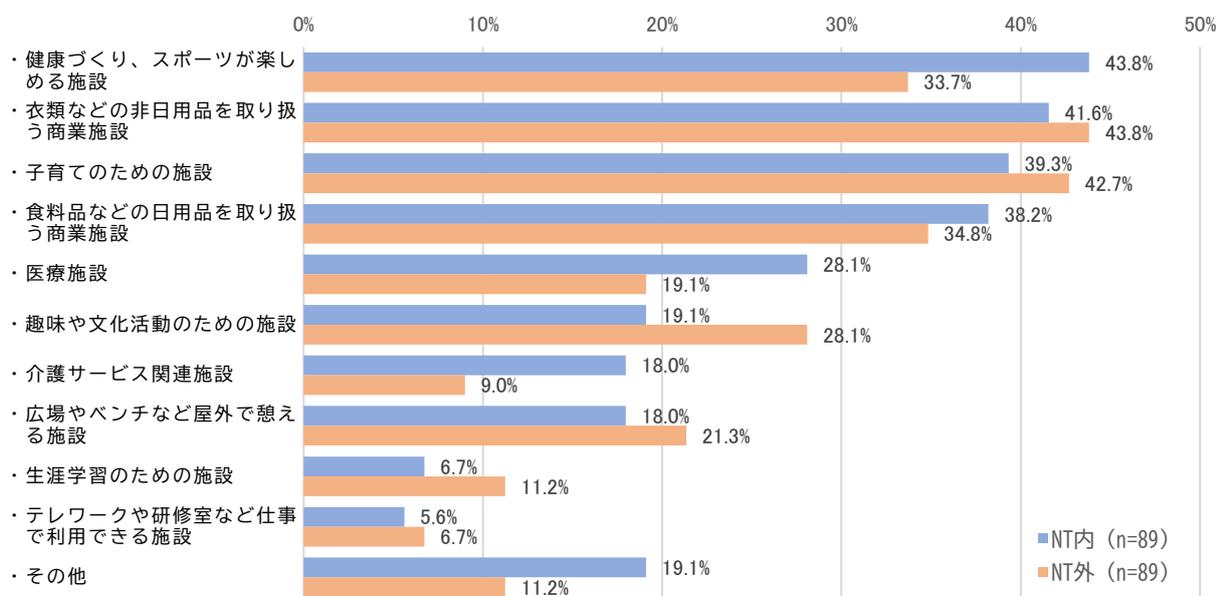


図. 30～49 歳が赤坂地区で充実した方が良いと思う施設（複数回答）

③50 歳以上

成田ニュータウン内居住者では「食料品などの日用品を取り扱う商業施設」が最も多く（35.8%）、次いで「趣味や文化活動のための施設」及び「健康づくり、スポーツが楽しめる施設」並びに「医療施設」（32.6%）の順となっており、全体の傾向と比較して、住み慣れた地域で暮らし続けることを支える都市機能が相対的に多いことが特徴である。

成田ニュータウン外居住者では、「趣味や文化活動のための施設」が最も多く（38.0%）、次いで「健康づくり、スポーツが楽しめる施設」（35.9%）の順となっており、全体の傾向と比較して、スポーツや文化といった活動の機会・場を提供する都市機能が相対的に多いことが特徴である。

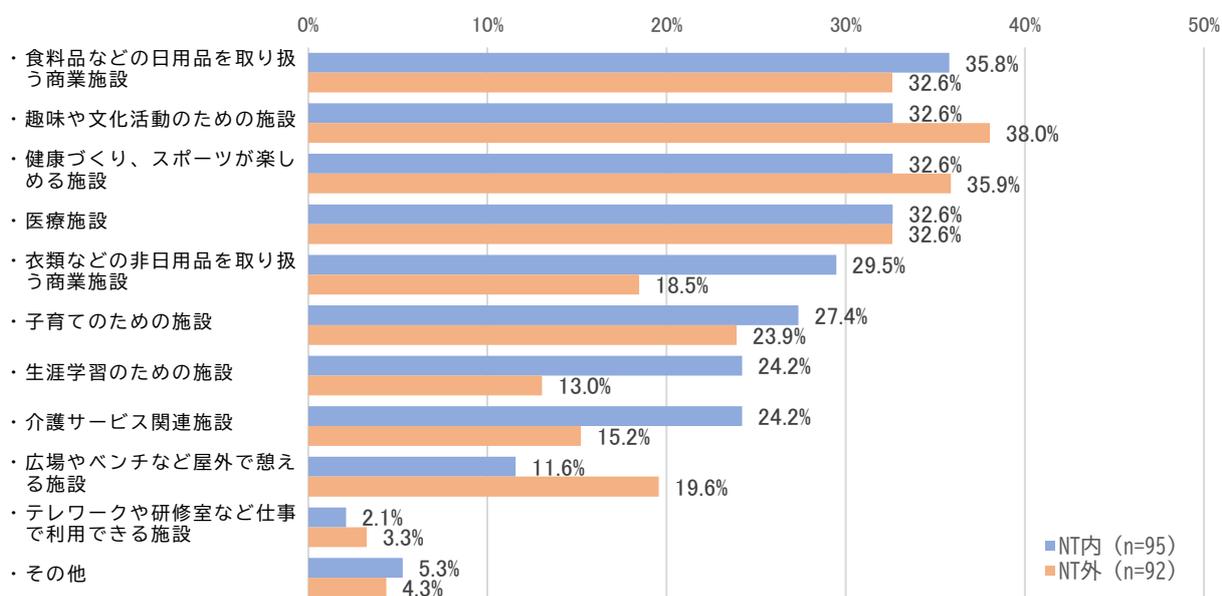


図. 50 歳以上が赤坂地区で充実した方が良いと思う施設（複数回答）

(8) 図書館（本館）の利用満足度

成田ニュータウン内居住者の満足度※では、「施設の利用方法のわかりやすさ」が最も多く（63.7%）、次いで「空調（冷暖房）環境」（60.9%）、「施設のきれいさ」（58.2%）の順となっており、施設の基本的な性能に対する満足度は高いが、「パソコンが利用できる環境」や「Wi-Fi 環境（通信環境）」といった ICT 環境、「若者の利用のしやすさ」や「小さな子ども連れでの利用のしやすさ」、「高齢者や障がい者の利用のしやすさ」といった多世代目線での利用しやすさについては、「どちらともいえない」が多く、この点で特徴を感じにくい評価がなされている。

成田ニュータウン外居住者の満足度においても、成田ニュータウン内居住者と同様の傾向となっている。

※「満足」「やや満足」を合わせた割合

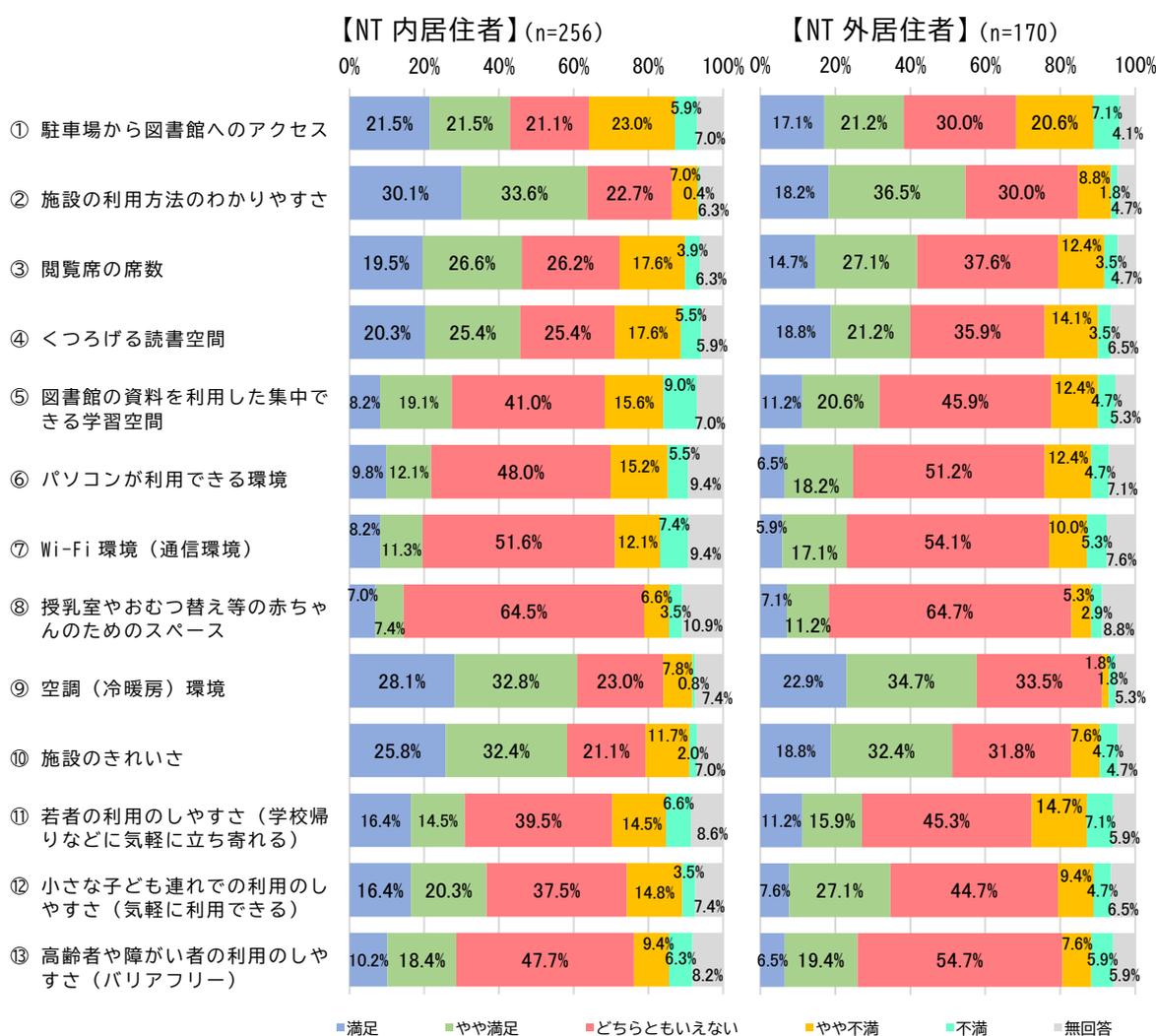


図. 図書館に対する利用満足度（単一回答）

(9) 中央公民館の利用満足度

成田ニュータウン内居住者の満足度※では、「駐車場の使いやすさ」が最も多く（42.7%）、次いで「空調（冷暖房）環境」（36.4%）、「施設の使いやすさ」（31.5%）の順となっており、図書館（本館）と同様に施設の基本的な性能に対する満足度は高いが、ICT 環境、多世代目線での利用しやすさについては、「どちらともいえない」が多く、この点で特徴を感じにくい評価がなされている。また、全ての項目において満足度は50%未満となっており、図書館（本館）と比較して、満足度は低い傾向にある。

成田ニュータウン外居住者の満足度においても、成田ニュータウン内居住者と同様の傾向となっている。

※「満足」「やや満足」を合わせた割合

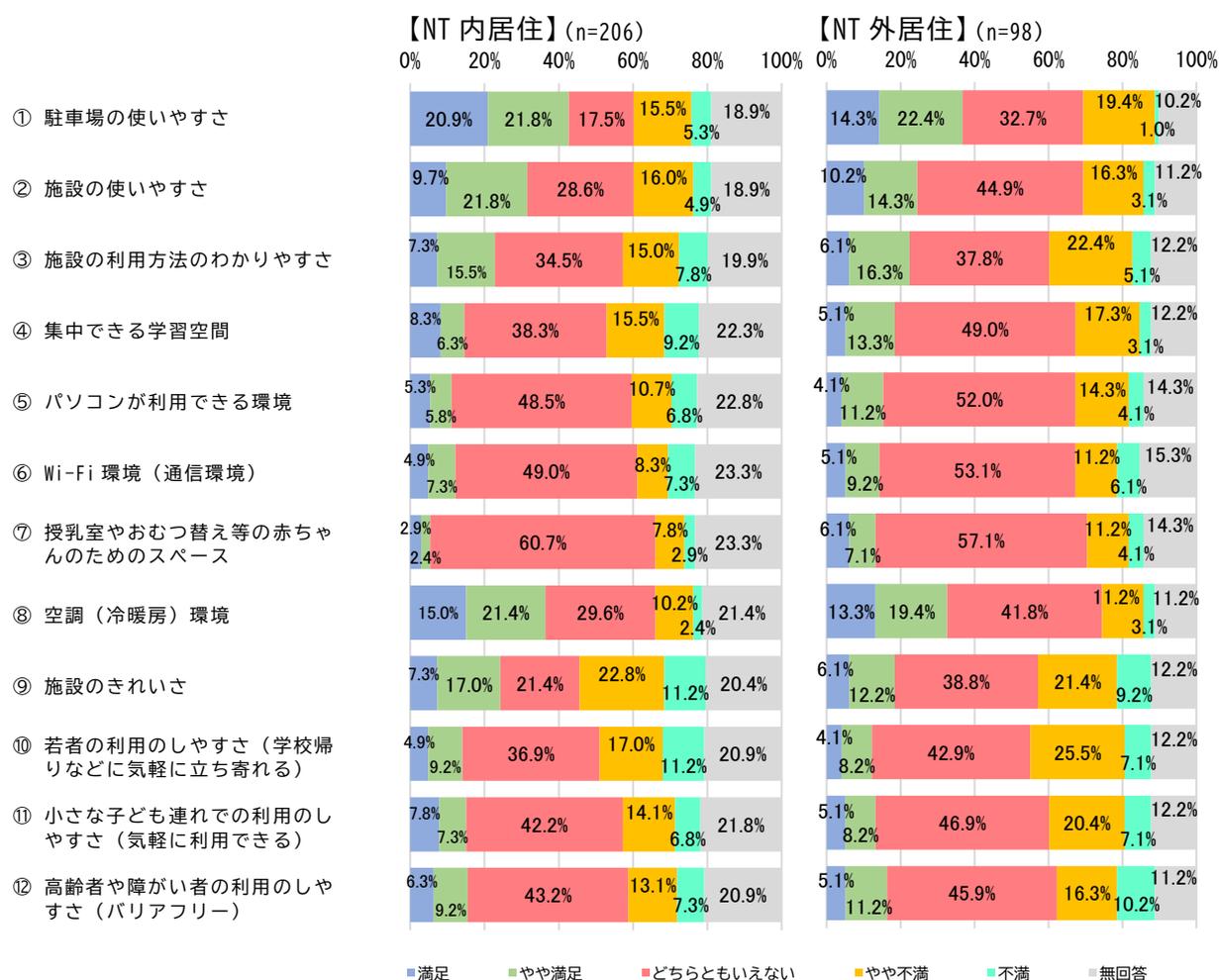


図. 中央公民館に対する利用満足度（単一回答）

(10) 複合施設の整備で重要と思うもの

1) 全体の傾向

成田ニュータウン内居住者の重要度※では、「各種申請窓口など市民向け行政サービス」が最も多く(80.8%)、次いで「カフェ・レストランなどの飲食サービス」(73.9%)、「健康教室や健康診断など健康づくりのためのスペース」(70.4%)の順となっている。また、重要度が50%未満は「自治会などコミュニティ活動で利用できるスペース」(49.8%)、「ビジネス・仕事で利用できる会議スペース」(36.6%)、「料理づくりを楽しめるキッチンスペース」(27.6%)に限られており、多くの選択肢で重要度が50%以上であることから、複合施設には多機能性が求められていると考えられる。

成田ニュータウン外居住者の重要度においても、成田ニュータウン内居住者と同様の傾向となっている。

※「重要」「やや重要」を合わせた割合

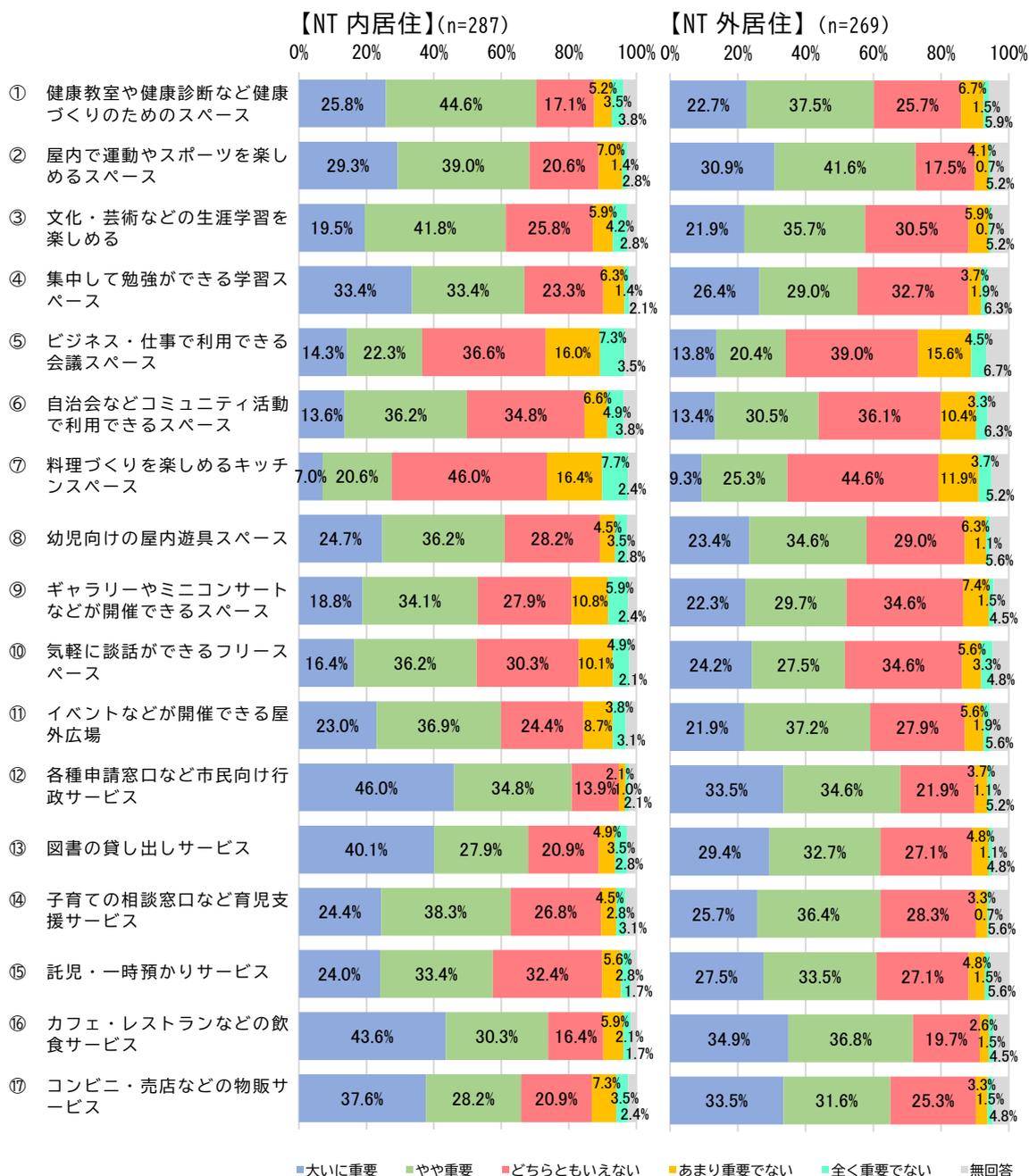


図. 複合施設整備に対する重要度

2) 年齢別の傾向

①15～29 歳

成田ニュータウン内居住者の重要度※では、「集中して勉強ができる学習スペース」及び「カフェ・レストランなどの飲食サービス」が最も多く（78.0%）、若い世代の居場所となる施設に対するニーズが多い。

成田ニュータウン外居住者の重要度では、「カフェ・レストランなどの飲食サービス」及び「屋内で運動やスポーツを楽しめるスペース」が最も多く（70.6%）、次いで「コンビニ・売店などの物販サービス」（65.9%）の順となっている。

※「重要」「やや重要」を合わせた割合

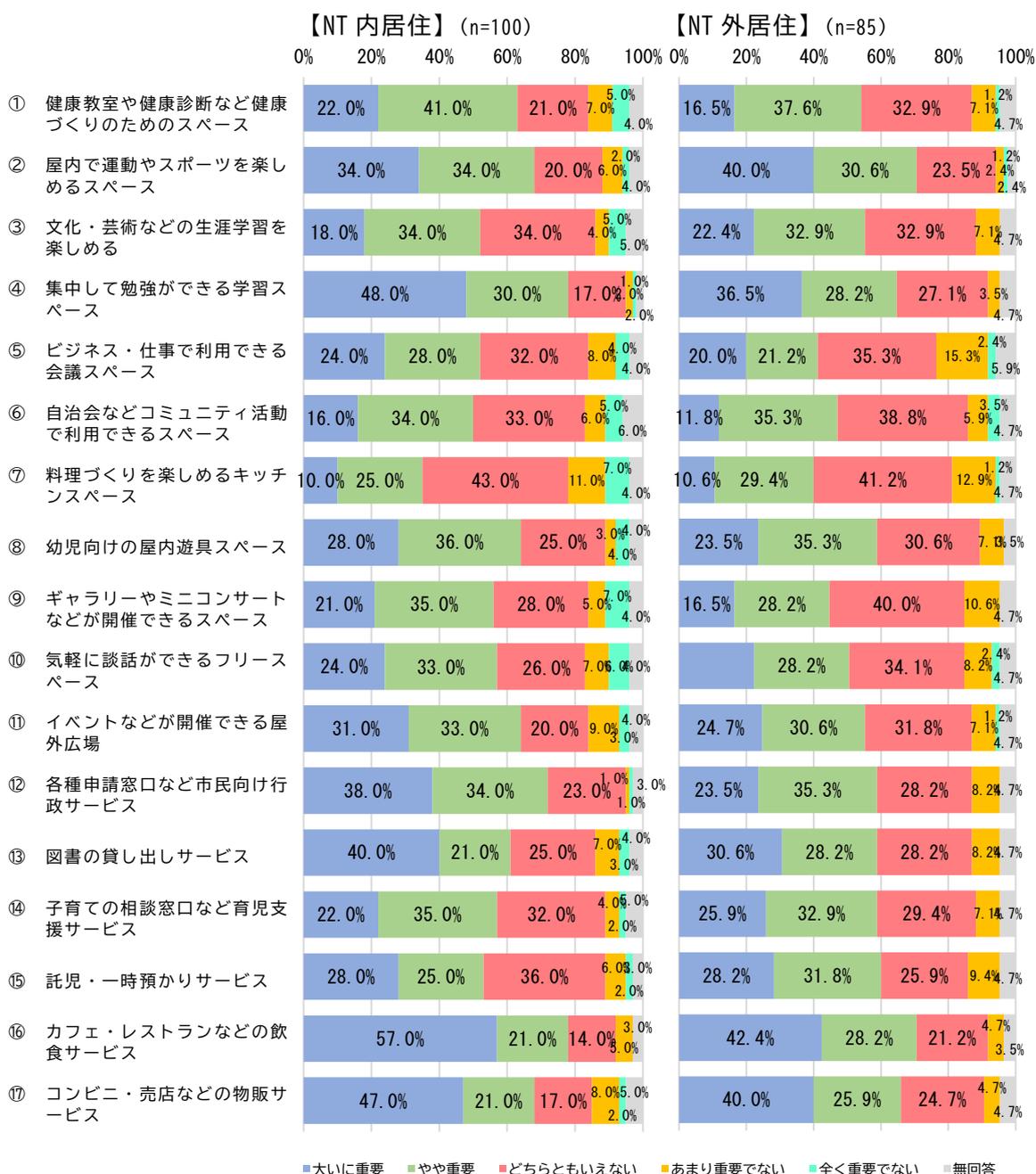


図. 15～29歳の複合施設整備に対する重要度

②30～49 歳

成田ニュータウン内居住者の重要度※では、「カフェ・レストランなどの飲食サービス」が最も多く(86.5%)、次いで「各種申請窓口など市民向け行政サービス」(85.4%)、「図書の貸し出しサービス」(76.4%)の順となっている。

成田ニュータウン外居住者の重要度では、「カフェ・レストランなどの飲食サービス」が最も多く(83.1%)、次いで「屋内で運動やスポーツを楽しめるスペース」(79.8%)、「コンビニ・売店などの物販サービス」(76.4%)の順となっている。

※「重要」「やや重要」を合わせた割合

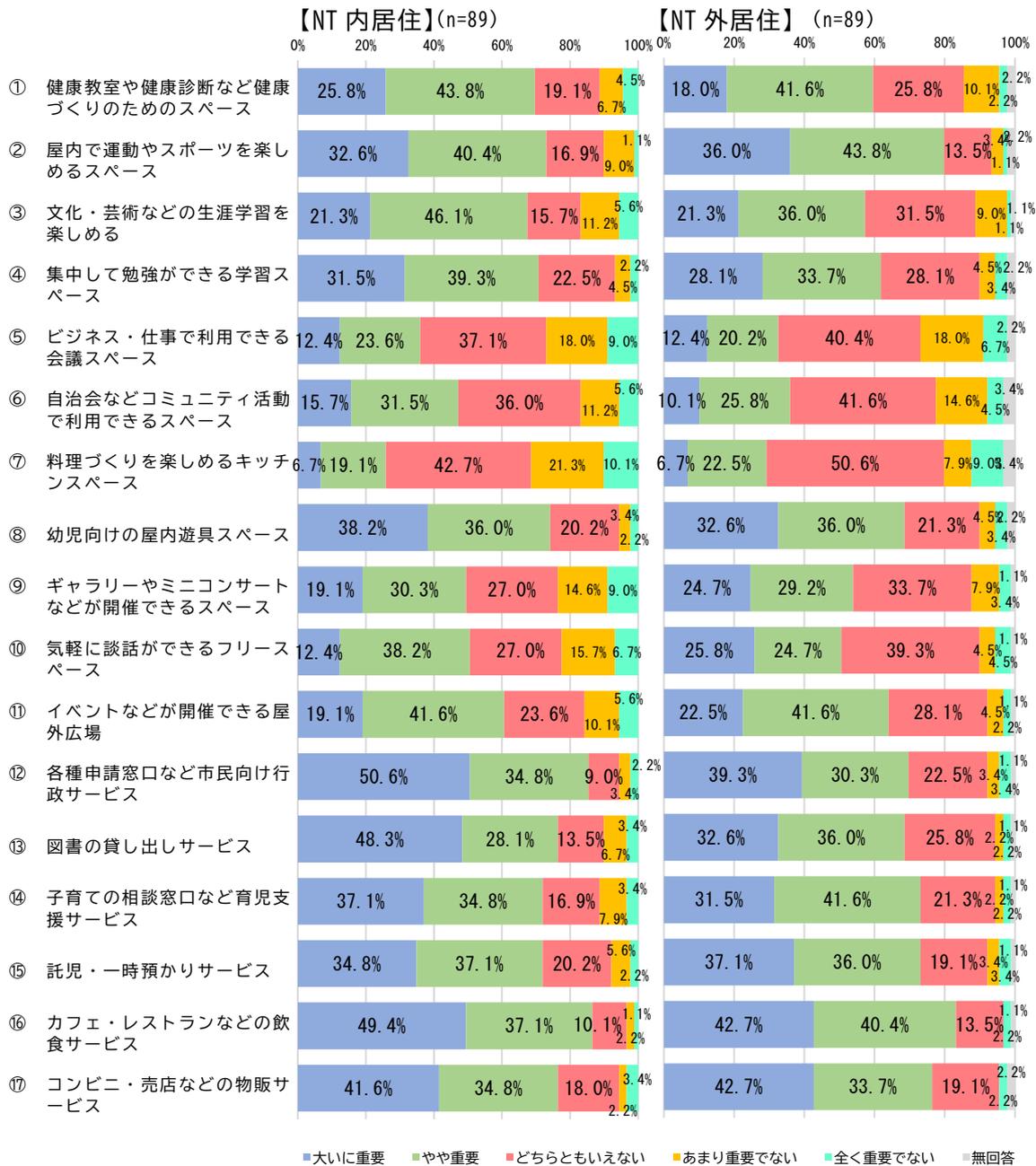


図. 30～49歳の複合施設整備に対する重要度

③50歳以上

成田ニュータウン内居住者の重要度※では、「各種申請窓口など市民向け行政サービス」が最も多く（86.3%）、次いで「健康教室や健康診断など健康づくりのためのスペース」（80.0%）、「図書の貸し出しサービス」（68.4%）の順となっている。

成田ニュータウン外居住者の重要度では、「各種申請窓口など市民向け行政サービス」が最も多く（74.0%）、次いで「健康教室や健康診断など健康づくりのためのスペース」及び「屋内で運動やスポーツを楽しめるスペース」（66.3%）の順となっている。

※「重要」「やや重要」を合わせた割合

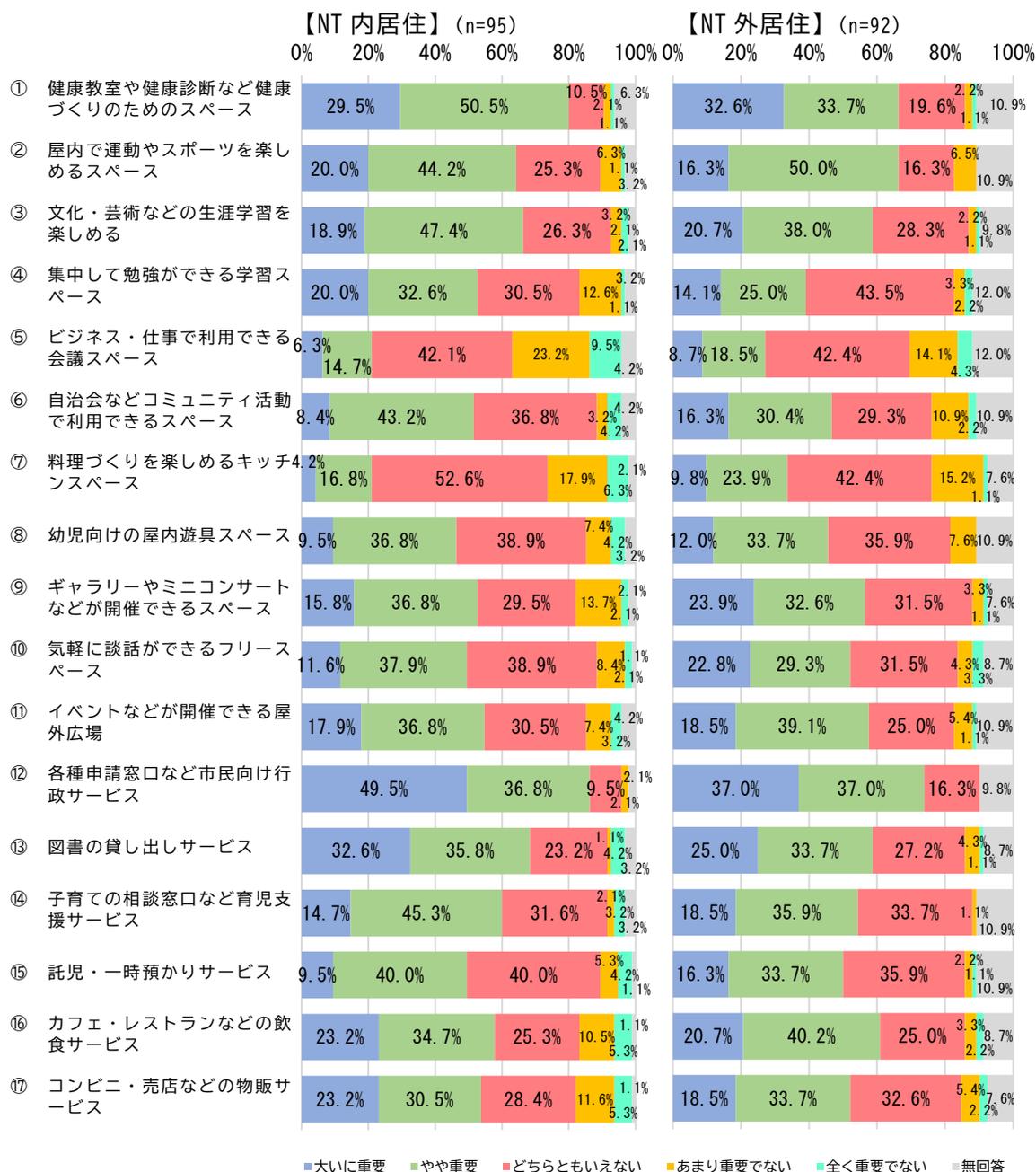


図. 50歳以上の複合施設整備に対する重要度

(11) 複合施設の整備にあたっての工夫

成田ニュータウン内居住者の重要度※では、「災害時には、地域の避難空間となる機能を備えること」が最も多く（93.7%）、次いで「居心地が良く、ゆっくり滞在できること」（86.4%）、「高齢者や障がい者が利用しやすいこと」（83.6%）、「親子連れで利用しやすいこと」（81.9%）の順となっている。また、「仕事やビジネスで利用しやすいこと」以外は重要度が50%以上であり、多様な工夫が求められている。

成田ニュータウン外居住者も成田ニュータウン内居住者と同様の傾向となっている。

※「重要」「やや重要」を合わせた割合

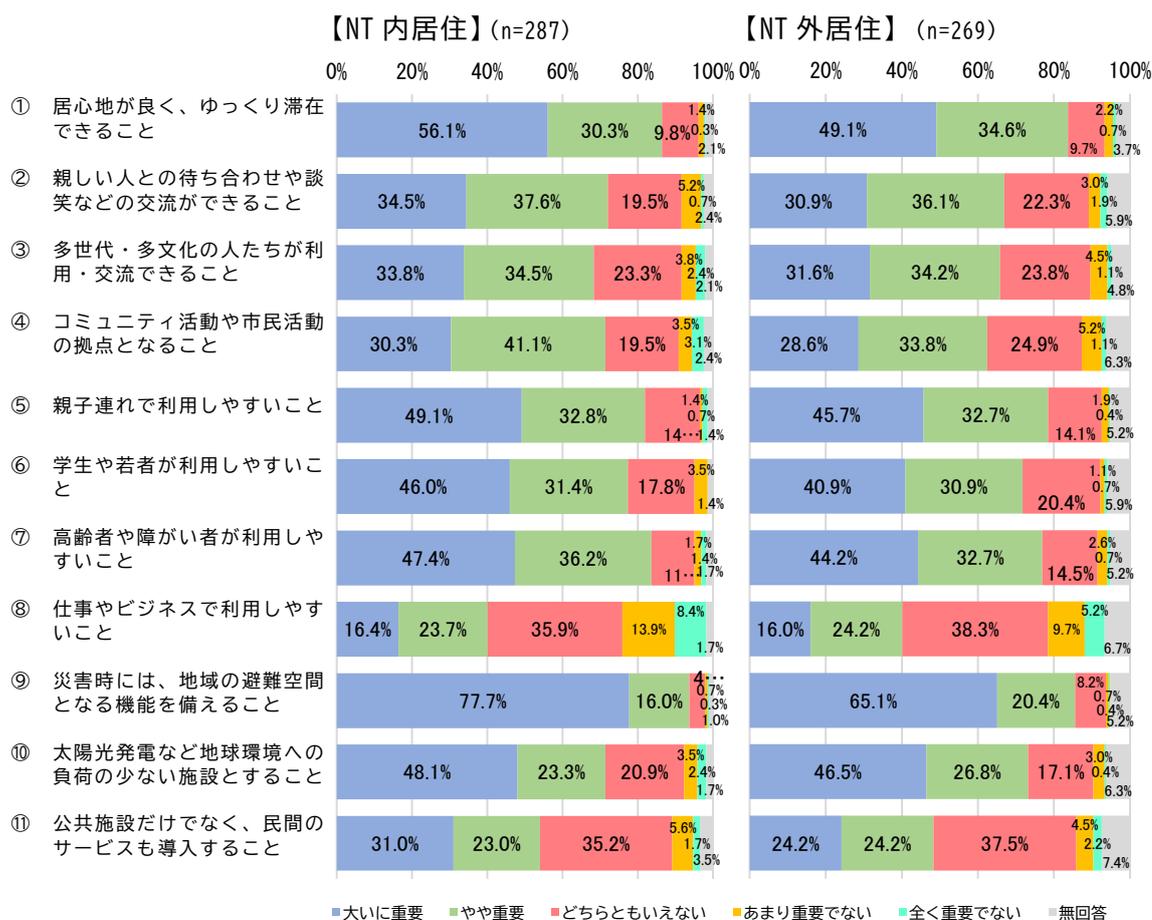


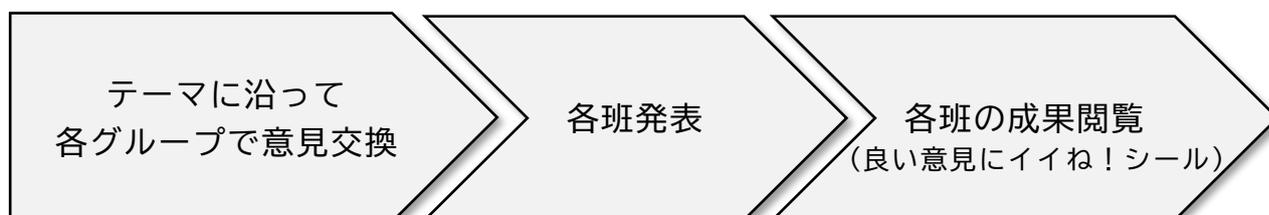
図. 複合施設整備にあたっての工夫に関する重要度

第2章 ワークショップ

実施概要

目的	多機能な複合施設の整備に向けて、成田ニュータウンの現状や市民が求める暮らしなどについて、市民目線のニーズを把握する
第1回目	開催日：令和5年10月22日（日）10時から テーマ：「地域課題やありたい暮らしを考える」 参加人数：17人（4グループ） 場所：中央公民館 講堂
第2回目	開催日：令和5年11月19日（日）10時から テーマ：「複合施設に求める機能、やりたい活動を考える」 参加人数：24人（5グループ） 場所：中央公民館 講堂

当日の流れ



各班において出された主な意見

第1回目：テーマ「地域課題やありたい暮らしを考える」

< A班 > 4人（40代・60代）

地域の魅力や資源					
子どもが多い	働くママが多い	地域活動が活発	大きな公園	駅から近い運動公園	緑道が便利
古墳群	民間施設が多い	国際都市	水害に強い		
地域の困りごと					
バスが少ない	交通アクセスが悪い	公園の駐車場が少ない	身近な遊び場がない	お年寄りの行き場が少ない	
若者の働き口	駅前に買物拠点がほしい	ショッピングセンターが機能していない			
成田ニュータウンでのありたい暮らし					
子育てしやすいまち	若者が集まるまち	市外からも人が集まる	子どもやお年寄りに安全なまち	充実した図書館	災害に強いまち
学生が過ごしやすく勉強しやすい環境	体を動かして遊べる場所	各年代が交流できる	若者や高齢者の働き口	大学がある	



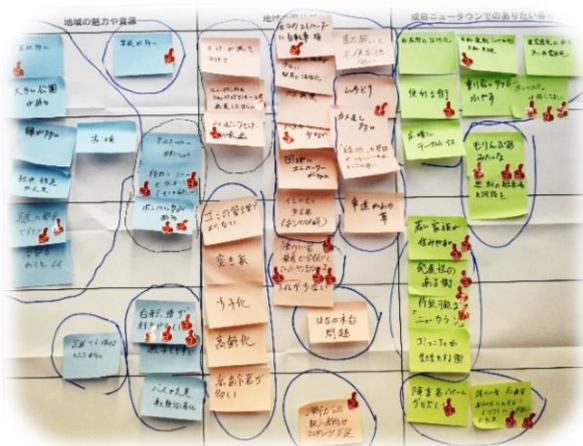
< B班 > 4人 (30代・50代・70代)

地域の魅力や資源					
小学校が多い	公園が多い	自然が豊か	緑道が充実	交通機関の利便性	中台運動公園
子どもが集まれる場所	ボンバルタ	赤坂消防署	防災に関心が高い		
地域の困りごと					
空き家が多い	まち全体の建物が古い	交通機関が分かりにくい	トイレや緑道の管理が行き届いていない		
ショッピングセンターの老朽化	高齢化	コミュニティ活動の縮小	バリアフリー		
成田ニュータウンでのありたい暮らし					
子育てしやすいまち	若者が住みやすく活気あるまち	アパートの低層化（高齢者向け）と高層化（若者向け）	多世代と交流できる場所		
草刈りのスケジュールを掲示	公園も含めて皆の拠点づくりの第1歩	赤坂センター地区、赤坂公園、保健福祉館を一体的に整備	複合施設を災害拠点に		



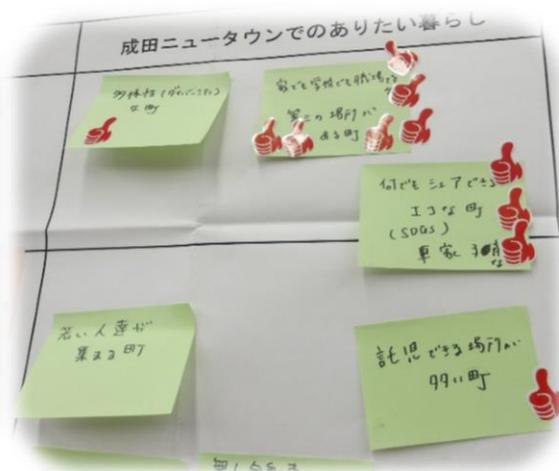
<C班> 5人 (20代・30代・50代)

地域の魅力や資源					
公園や 緑が多い	緑地・緑道 が充実	学校 が多い	バス が充実	通学 しやすい	ボンバルタ
高齢者の働 き口が多い	治安が良い	古墳	ネットスー パーが充実		
地域の困りごと					
少子高齢化	空き家 が多い	バスの本数 が少ない	団地にエレベ ーターがない	ショッピング センターの衰退	
緑地や ゴミの管理	海外転入者向けの コンテンツ不足	障がい者用の トイレが少ない	虫が多い		
成田ニュータウンでのありたい暮らし					
若い家族が住 みやすいまち	便利な まち	発展性があり 持続可能なまち	商店街の 活性化	県営住宅 の再編	コミュニティ が活発
もりんぴあ みたいな施設	ボンバルタは 残してほしい	障がい者、高齢者、外国人 へのサポートを充実	乗り合い タクシーを増やす		



<D班> 4人 (30代・40代・60代)

地域の魅力や資源					
子どもが多い	公園や緑が多い	安全な緑道	学校が多い	区画や道が広い	徒歩で生活が完結
ジョギングやウォーキングしやすい		公共施設が集中して便利	住宅や緑地のバランスが良い	スーパーが多い	
地域の困りごと					
空き家が多い	公民館等の老朽化	児童館が少ない	地域行事の減少	多世代の交流が少ない	バリアフリー
子ども・高齢者への見守りが少ない	新規事業や副業をしやすい環境がない		市役所に「ニュータウン課」を		
成田ニュータウンでのありたい暮らし					
若物が集まるまち	若者が出店しやすいまち	託児に困らないまち	多世代が交流できるまち	多様性のあるまち	
何でもシェアできるエコなまち(SDGs)	無人バスが走るまち	地域住民が生き生きとした暮らし	家・学校・職場ではない第3の場所があるまち		



第2回目：テーマ「複合施設に求める機能、やりたい活動を考える」

< A班 > 5人（20代・40代・60代）

こんなサービスや施設があったらいいな/こんな活動・利用をしてみたいな/
こんな環境があるといいな/こんな施設だったら私は行きたいな

【子ども・若者関連】

保育園や公園、もりんぴあ
のような施設

子育て世代が中心に
入居できるマンション

子ども連れが安心して
使える映画館

年齢別の
子供の遊び場

子どもと多世代が
交流できる施設

安全に外遊びや
水遊びができる施設

施設の一角に子どもを
預けられるスペース

スポッチャや吹奏楽など
学生が集まる施設

学習・テレワークスペース
(Wi-Fiで印刷できるプリンター)

若者が集まるイベ
ントができる施設

【施設・設備関連】

飲食店や
商業施設

カフェのよ
うな図書館

楽器が演奏
できるスペース

ワークショップが
できるスペース

道の駅の
ような施設

充実した遊具があり
BBQができる公園

外国人旅行者が
1度は訪れたい施設

防災拠点

バリアフリー

【イベント関連】

異文化交流など
ができる施設

ランニングやボルダリング
などスポーツができる施設

芸術家が集まる
イベント

大人が
学べる講座

【アクセス面】

駅から施設まで
直通で行けるように

施設間は橋を使って
自由に行き来できるように



< B班 > 5人 (10代・30代・40代・50代・70代)

こんなサービスや施設があったらいいな/こんな活動・利用をしてみたいな/
 こんな環境があるといいな/こんな施設だったら私は行きたいな

【子ども・若者関連】

児童館や子育て支援センター など子どもが遊べる施設	子どもの遊び場と 相談場所をまとめてほしい	子どもや若者が 発表できる場所
学生や社会人が 勉強しやすい環境	学生が家と学校(塾)以外で 勉強できる第3の学習スペース	若者の企業を 支援するセミナー

【施設・設備関連】

中庭のような 開放的な空間	もりんぴあ のようなホール	防音の部屋 (バンド練習・子どもが遊べる)	フリーWi-Fi
多世代にとって 親しみやすい場所	誰でも気軽に 運動できる施設	屋外・屋内のどちら も楽しめる施設	バリアフリー
複合施設、赤坂公園、 保健福祉館を一体で整備	複合施設を核として ニュータウンの再生を	災害時の 拠点施設	

【イベント関連】

市民フェスや アート活動	緑道を活用した 古墳ツアー	市内行き案内	何か面白いことを 教えてくれるイベント
-----------------	------------------	--------	------------------------

【外国人への対応】

看板や案内板を 多言語に	外国人と交流 できる施設	QRコードで 情報提供
-----------------	-----------------	----------------



<C班> 5人 (30代・40代・50代・60代)

こんなサービスや施設があったらいいな/こんな活動・利用をしてみたいな/
こんな環境があるといいな/こんな施設だったら私は行きたいな

【子ども・若者関連】

不登校の
子どもの居場所

子どもの
託児場所

子ども向けの
ワークショップ

若者が
集う場所

広い学習
スペース

【施設・設備関連】

各世代のニーズを
取り入れた施設

起業・副業・新規創業が
しやすい環境整備

チャレンジショップ
のスペース

フード
コート

地域の人繋がり
交流できる場所

図書館ニーズを
活かした商業施設

多業種が
集う場所

夜間も
使える施設

騒音を
気にしない

誰でも弾けるピアノ
などの楽器がある施設

図書館に
カフェを

ボンバルタ
との回遊性

バリアフリー

大規模な
駐車場

明るく利用
しやすい公民館へ

外国人の
相談窓口

【イベント関連】

屋根付きの
コンサート広場

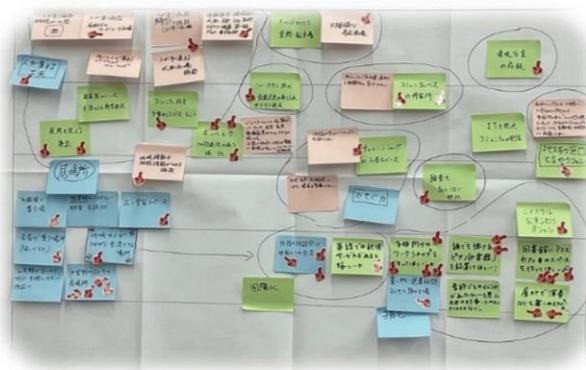
人が多く集まる式典会場や
パブリックビューイング

季節ごとのイベント
(ハロウィン・クリスマス)

【アクセス面】

無人バスを試験的に
運行してほしい

コミュニティバス
の停留所



<D班> 4人 (30代・40代・50代)

こんなサービスや施設があったらいいな/こんな活動・利用をしてみたいな/
こんな環境があるといいな/こんな施設だったら私は行きたいな

【子ども・若者関連】

雨の日に子ども
が遊べる場所

公民館の中に
子ども館

学生の
勉強スペース

子どもとリタイア組が
交流できる施設

【施設・設備関連】

飲食店・フードコート
(キッチンカーも良い)

500人規模
のホール

イベントを
行えるスペース

周辺の施設が屋根付き
の道路で繋がっている

季節の草花を
楽しめる施設

道の駅

運動施設(サッカー・バスケ・バレー
・ジム・プール・スポッチャなど)

サウナ

ホームセンター
などの商業施設

市外から集客できる施設
(職業体験や遊園地など)

バリアフリー

屋内駐車場

【図書館に求めるもの】

ドライブスルー
図書館

飲食スペース
(本&カフェ)

古本を
寄付

サイトを
見やすく

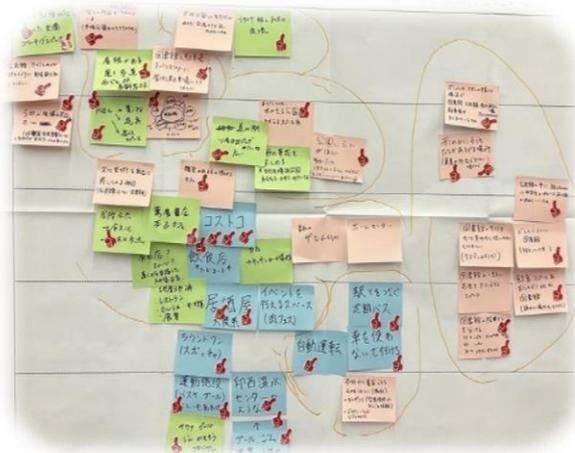
階層ごとに用途を分ける
1~2F おしゃべり、飲食
3F 静かに本を読む

【アクセス面】

駅と施設を繋ぐ
定期バスの運行

車を使わないで
行ける場所

無人バスなど
の自動運転



< E班 > 5人 (30代・40代・50代・60代)

こんなサービスや施設があったらいいな/こんな活動・利用をしてみたいな/
 こんな環境があるといいな/こんな施設だったら私は行きたいな

【子ども・若者関連】

乳幼児の親子が ゆっくりできる場所	もりんぴあのように 子どもが遊べる施設	子ども 食堂	赤坂保育園 の存続	中高生が自由に 出入りできる
----------------------	------------------------	-----------	--------------	-------------------

【施設・設備関連】

飲食店などの スペース	音楽 ホール	住居・教育・商業 を備えた施設	屋内外が繋がっていて、子ども の遊びや活動が展開できる場所	
中高生の 部活動スペース	プラネタリウム や科学展示	研究施設	屋上に緑地があり 市民農園ができるスペース	
雨の日に思いっきり 走れる場所	住民票などの行政 サービスやATM	祭りが できる会場	プレイ パーク	災害用 ヘリポート
外国人が 利用しやすい	新勝寺をイメージした 成田らしい建物に	千葉県の杉を 使った木造建築	大きな駐車場 (低料金)	

【公民館・図書館に求めるもの】

温泉付き 中央公民館	予約しやすい 公民館	学習スペース がある図書館	託児・カフェ のある図書館	お喋りして過ごせる 庭付きの図書館
親・子ども・赤ちゃんが 遊べる、寝る図書館	多数の 蔵書	にぎやかな人が 集まれる図書館		

【アクセス面】

バス停を直結にして 誰でもアクセスできる	色々な地域から 来れるFREEバス
-------------------------	----------------------



第3章 まとめ

(1) 市民アンケート調査とワークショップにおいて出された意見の整理

市民アンケート調査において、「複合施設に求めること」の重要度が6割を超えている項目とそれに対応するワークショップでの意見は、次のとおりです。

市民アンケート調査 (複合施設に求めること)	ワークショップ (あったらいいなと思う施設/サービス)
・市民向け行政サービス (81%)	・住民票等の交付サービス ・各種相談窓口、外国人相談窓口
・カフェなどの飲食サービス (74%) ・コンビニ・売店等の物販サービス (65%)	・フードコートやファーストフード ・地産地消レストラン ・キッチンカー、居酒屋 ・商業施設、書店、若者向けのショップ
・健康づくりのためのスペース (70%) ・運動ができるスペース (68%)	・サウナやプール、ジム、温浴施設 ・学生が集まるスポッチャのような施設 ・ランニングやボルダリングができる施設
・図書館の貸し出しサービス (68%)	・カフェスペースがあり、飲食できる ・赤ちゃん、子ども、親が楽しめる ・おしゃべりのスペースと読書を分ける ・図書のドライブスルーや寄付コーナー
・集中して勉強できる学習スペース (67%)	・広い学習スペース ・パーティションで仕切られた席 ・Wi-Fi 環境の整備
・子育て相談窓口などの育児支援 (63%) ・子どもの遊び場 (61%)	・子育て支援センターや児童館 ・不登校の子どもたちの居場所 ・プレイパーク、見守りサービス ・子どもの体験施設 ・子どもと多世代の交流
・文化・芸術などの生涯学習 (61%)	・音楽コンサートができるホール ・アートな活動ができるスペース ・科学学習 (プラネタリウムや科学展示)

※ () 内の数値は「重要」「やや重要」を合わせた割合

(2) 複合施設の将来ビジョンについて

複合施設の整備に向けた基本調査においては、市民アンケート調査やワークショップで出された意見や要望などを十分に踏まえるとともに、ニュータウンの再生に向けた新たなまちづくりを見据えながら、施設の目指すべき将来ビジョンを描いてまいります。